

木蓮

棒を願うて針

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれる木蓮のシンボルツリーがありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮」をお届けします。

新着雑誌誌

『ダ・ヴィンチ 3月号』

ダ・ヴィンチ 3月号

●新刊・既刊本をジャンル別に紹介する本の雑誌。コラムなど新しい視点で幅広く取り上げる。新たな事業や商品、手法などを取材。ビジネスヒントが隠れています。経済の一步先がわかります。

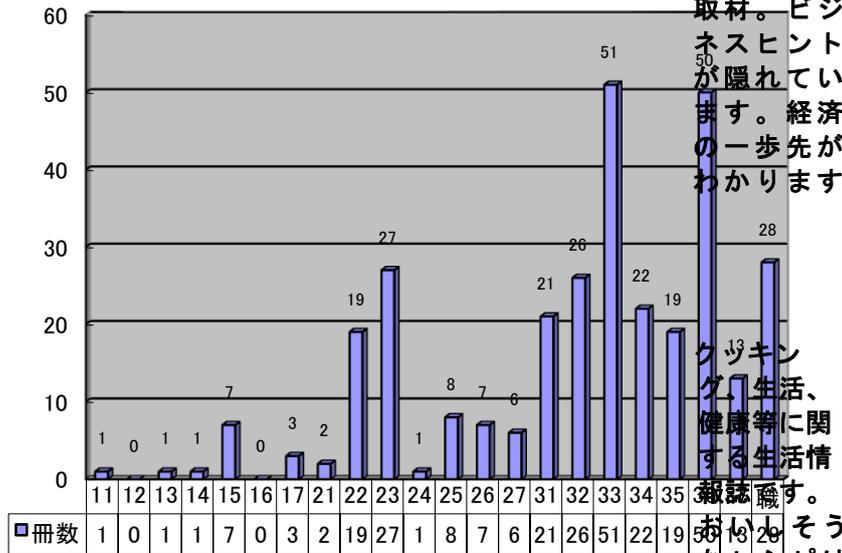
クッキング、生活、健康等に関する生活情報誌です。おいしくおいしいレシピは必見!

●創刊60年近くの実績を代表する洋画雑誌です。海外の最新作話

2月8日は針供養、折れたり錆びたりして使えなくなった縫い針を、豆腐やこんにやくに刺して、裁縫の上達を祈る行事です。針小棒大（しんしょうぼうだい）」という表現は、物事を大げさに言い立てる時に使われます。針が小さなものの代表、棒が大きなものの代表として対比されています。「棒を願うて針」は「棒ほど願って針ほど叶う」と同義のことわざです。棒ほど太くて大きな望みを持っていても、実際は針ほどの細く小さな願いしか叶えられないという意味から、世の中は願い通りにはいかないものだという事と、願いが叶うのはわずかだから望みは大きく持つべきだ、という二つの教訓が含まれています。私たちも大きな目標を持ち、そのための努力を惜しまず、願い通りにいかななくてもくさらずに前進していきたいものです。

金商図書館は良書を用意して、あなたの願いを叶えるためのお手伝いをしていきます。

図書館利用統計【1月10日~1月31日】



1月の図書貸し出し総数は313冊でした。開館日数は1日平均にすると約19.6冊の貸し出しです。学年別では3年生が202冊、2年生が70冊で、1年生は13冊でした。入館者総数は1,865人で、1日平均約117人の利用でした。図書館で29時間ありました。春に向けて、1・2年生の利用を待たせよう!

図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

『無花果とムーン』桜庭一樹著

主人公の容姿の設定が綺麗です。二人の対照的な兄の存在や、兄妹愛の深さが起こすありえない事件にハマること間違いなしです! (22H)

『死神の精度』伊坂幸太郎著

クールでどこか奇妙な死神・千葉が会う六つの人生。短編集のようになっていて、とても読みやすかったです。(22H)

『世界から猫が消えたなら』川村元気著

映画化された作品です。自分の寿命を延ばすために1日1日何かを消していくストーリーです。私たちのまわりには実は「無くてもよい」ものがあふれかえっているのだと思いました。(23H)

『刀語』西尾維新著

伝説の刀鍛冶がその人生を賭けて鍛えた12本の“刀”を求めていく物語です。キャラ同士の会話がおもしろいです。(23H)

返却し忘れている
本はありませんか?
立つ鳥跡を濁さず
借った本は必ず返しましょう!
(紛失した場合は全額弁償になります)

ありがとうございます。
図書の寄贈がありました。
* 榎河村様より
『北国新聞
縮刷版 11・12
月号』 2冊